



## 平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社イボキン 上場取引所 東  
 コード番号 5699 URL <https://www.ibokin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 克実  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山崎 喜博 TEL 0791 (72) 3531  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,861	—	228	—	221	—	132	—
29年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 129百万円 (ー%) 29年12月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	105.38	—
29年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成29年12月期第3四半期の数値及び対前年度四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 平成30年2月28日開催の取締役会決議により、平成30年3月30日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,555	2,549	56.0
29年12月期	3,604	1,394	38.7

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,549百万円 29年12月期 1,394百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期 (予想)	—	—	—	27.00	27.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想の修正につきましては、本日公表の「配当予想の修正(東証JASDAQ上場記念配当)」に関するお知らせをご参照下さい。  
 2. 平成30年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当24円00銭 記念配当3円00銭  
 3. 平成30年12月期(予想)期末配当金は、平成30年3月30日付で普通株式1株につき2株の割合をもって行う株式分割後の期末配当金になります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,344	11.3	280	5.3	300	8.3	197	△1.5	147.98

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成30年2月28日開催の取締役会決議により、平成30年3月30日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成30年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	1,713,600株	29年12月期	1,620,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	79株	29年12月期	484,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	1,253,682株	29年12月期3Q	－株

（注） 1. 平成30年2月28日開催の取締役会決議により、平成30年3月30日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 平成29年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米国や中国などの政策等に関する不確実性が増し、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループの強みである解体事業を核とした工事現場から発生するスクラップの買取り、産業廃棄物収集運搬及び中間処理までを一貫して完結する「ワンストップ・サービス」を中心とした営業展開を推進し業績の確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,861,940千円、営業利益は228,459千円、経常利益は221,666千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は132,125千円となりました。

各セグメント別の状況は下記のとおりです。

#### <解体事業>

解体工事の需要は堅調に推移し、大型案件10件を含め完工件数は186件となりました。

これらの結果、売上高は1,097,479千円、営業利益は107,805千円となりました。また、受注残高につきましても800,147千円と順調に推移しております。

#### <環境事業>

産業廃棄物処理受託及び再生資源販売の取扱高は顧客のニーズにあったサービスを提供をするなど販路拡大を展開したことにより廃棄物処理受託数量20,951トン、再生資源販売数量11,555トンと堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は1,080,308千円、営業利益は21,704千円となりました。

#### <金属事業>

スクラップの取扱高は49,393トンと堅調に推移しました。また、スクラップ相場（鉄・銅・真鍮・ステンレス・アルミ）も安定しており、鉄鋼メーカーの生産増により需要も堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は2,684,153千円、営業利益は98,948千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,555,497千円となり、前連結会計年度末に比べて951,223千円増加しました。流動資産は、第三者割当増資等による現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べて988,226千円増加の2,610,026千円となりました。固定資産は、投資有価証券の売却等により、前連結会計年度末に比べて37,003千円減少の1,945,470千円となりました。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,006,279千円となり、前連結会計年度末に比べて203,339千円減少しました。流動負債は、工事未払金の減少等により、前連結会計年度末に比べて132,605千円減少の928,375千円となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて70,733千円減少の1,077,903千円となりました。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、自己株式の処分等により、前連結会計年度末に比べて1,154,562千円増加し、2,549,218千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月2日付で公表しました当期の連結業績予想から変更ありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	708,827	1,839,306
受取手形及び売掛金	521,612	436,939
完成工事未収入金	73,096	69,205
商品及び製品	30,218	3,553
仕掛品	5,704	5,834
原材料及び貯蔵品	105,423	93,425
未成工事支出金	132,837	106,136
繰延税金資産	16,890	10,362
その他	28,775	46,614
貸倒引当金	△1,586	△1,351
流動資産合計	1,621,799	2,610,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	348,825	326,355
機械装置及び運搬具（純額）	270,276	276,237
最終処分場（純額）	76,890	75,691
土地	856,650	856,650
リース資産（純額）	29,892	57,279
その他	34,099	9,829
有形固定資産合計	1,616,634	1,602,043
無形固定資産		
のれん	10,319	8,498
その他	13,502	15,808
無形固定資産合計	23,821	24,306
投資その他の資産		
投資有価証券	87,965	74,200
保険積立金	226,286	218,292
その他	27,767	26,627
投資その他の資産合計	342,018	319,120
固定資産合計	1,982,474	1,945,470
資産合計	3,604,274	4,555,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	273,516	247,919
工事未払金	130,622	61,012
短期借入金	50,000	—
1年内償還予定の社債	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	162,139	164,441
リース債務	11,772	15,877
未払金	142,672	80,285
未払法人税等	88,208	29,706
賞与引当金	26,700	25,515
その他	175,350	253,618
流動負債合計	1,060,981	928,375
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	635,143	576,487
リース債務	19,853	45,622
長期未払金	178,529	178,529
役員退職慰労引当金	198,029	209,930
退職給付に係る負債	20,804	26,283
繰延税金負債	14,299	9,695
資産除去債務	31,870	31,305
その他	107	50
固定負債合計	1,148,637	1,077,903
負債合計	2,209,618	2,006,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,500	130,598
資本剰余金	83,735	945,418
利益剰余金	1,329,451	1,461,581
自己株式	△80,805	△165
株主資本合計	1,379,881	2,537,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,774	11,785
その他の包括利益累計額合計	14,774	11,785
純資産合計	1,394,655	2,549,218
負債純資産合計	3,604,274	4,555,497

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,861,940
売上原価	4,101,142
売上総利益	760,798
販売費及び一般管理費	532,339
営業利益	228,459
営業外収益	
受取利息	112
受取配当金	591
受取手数料	2,975
受取賃貸料	1,212
保険解約返戻金	11,851
その他	4,116
営業外収益合計	20,860
営業外費用	
支払利息	2,944
上場関連費用	24,596
その他	112
営業外費用合計	27,653
経常利益	221,666
特別利益	
固定資産売却益	5,164
特別利益合計	5,164
特別損失	
固定資産除却損	0
火災損失	13,899
特別損失合計	13,899
税金等調整前四半期純利益	212,931
法人税、住民税及び事業税	76,327
法人税等調整額	4,478
法人税等合計	80,806
四半期純利益	132,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,125

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	132,125
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,988
その他の包括利益合計	△2,988
四半期包括利益	129,136
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	129,136
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年8月2日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場に上場いたしました。上場にあたり、平成30年8月1日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による自己株式の処分484,000株により、資本剰余金が778,584千円増加しております。

また、平成30年8月29日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行93,600株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ83,098千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金130,598千円、資本剰余金945,418千円になっております。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,097,479	1,080,308	2,684,153	4,861,940	-	4,861,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,927	168,589	10,313	230,830	△230,830	-
計	1,149,406	1,248,898	2,694,467	5,092,771	△230,830	4,861,940
セグメント利益	107,805	21,704	98,948	228,459	-	228,459

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。